



2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ヤマノホールディングス
(JASDAQ 7571)

ADVANCE with CHANGE

2019年3月期 第2四半期 業績概要



2019年3月期 2Q 業績サマリー

(単位:百万円)	2018年3月期 2Q累計	2019年3月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,690	7,026	△663	△8.6%
営業利益	95	86	△9	△9.7%
経常利益	148	87	△61	△41.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	534	31	△503	△94.1%



2019年3月期 2Q 連結損益計算書

(単位:百万円)	2018年3月期 2Q	2019年3月期 2Q		概 要
		実 績	前年増減額	
売 上 高	7,690	7,026	△663	前年同期にスポーツ事業譲渡した影響に加え DSM事業での拠点統廃合による売上減等により減収
売上総利益	3,957	3,662	△294	売上高減収にともない減益するも、売上総利益の 低いスポーツ事業の撤退もあり、利益率は前年同期比 0.7pt上昇
利益率	51.5%	52.1%	+0.7pt	
販売管理費	3,861	3,576	△285	前年同期の事業再編により、販管費減少するも 新規客獲得による販促費増の影響もあり販管費比率 0.7pt上昇
対売上高比率	50.2%	50.9%	+0.7pt	
営業利益	95	86	△9	スポーツ事業の赤字影響は当四半期になくなるも、 売上減の影響及び新規客獲得にむけての販促費増加や 管理体制強化による人件費の増加等により減益
利益率	1.2%	1.2%	0pt	
経常利益	148	87	△61	前年同四半期に計上した受取配当金が 当四半期は大きく減少したため、経常利益は87百万
利益率	1.9%	1.2%	△0.7pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	534	31	△503	前年同期に計上した事業撤退損や卸売子会社の株式を 一部売却した事による売却益等の影響が 当四半期にはなくなり減益
利益率	7.0%	0.4%	△6.5pt	



2019年3月期 2Q 報告セグメント情報

(単位:百万円)		2018/3月期 2Q	2019/3月期 2Q	増減額	状 況
美 容	売上高	1,022	981	△40	当上期に1店舗新規出店、平成30年7月1日付で都内3店舗を展開するネイルサロン、(株)みうらを連結子会社として加えるも8月9月相次ぎ上陸した台風の影響を受け減収減益
	セグ利益	22	△9	△31	
和装宝飾	売上高	5,229	5,176	△53	和装小売部門で4店舗改装を実施 また、きものを着る機会の場合として「きもの会」を全国96会場で開催し、新たな顧客創造に注力 従来の既存顧客偏重から新規客を中心とした集客を促進
	セグ利益	178	117	△60	
D S M	売上高	1,056	868	△188	新商材の開発及び販売チャネルの変換を課題とし取り組むも、新規客の獲得や販売員補強は依然厳しい状況が続いており、 当上期においても、7拠点の統廃合を実施 その影響もあり減収減益
	セグ利益	10	0	△10	
スポーツ	売上高	378	—	△378	2017年5月23日スポーツ事業撤退
	セグ利益	△136	—	+136	



連結貸借対照表

(単位:百万円)	2018/3末	2018/9末	増減額
流動資産	5,409	5,088	△321
現預金	2,582	2,326	△255
受取手形・売掛金	1,230	1,184	△45
たな卸資産	1,377	1,389	+12
固定資産	1,987	1,842	△144
有形固定資産	386	382	△4
建物及び構築物	312	311	△1
工具器具備品	26	28	+1
土地	37	37	±0
無形固定資産	154	162	+8
投資その他	1,446	1,297	△148
投資有価証券	431	302	△129
敷金・保証金	972	940	△31
資産合計	7,396	6,930	△465

(単位:百万円)	2018/3末	2018/9末	増減額
負債合計	5,801	5,491	△310
流動負債	4,836	4,569	△267
支払手形・買掛金※1	1,872	1,904	+32
社債・短期借入金※2	187	262	+75
固定負債	964	921	△43
社債・長期借入金	521	507	△14
純資産	1,595	1,439	△155
株主資本	1,444	1,373	△71
利益剰余金	1,397	1,326	△71
自己株式	△53	△53	±0
その他包括利益累計	150	66	△84
負債純資産合計	7,396	6,930	△465
自己資本	1,595	1,439	△155
自己資本比率	21.6%	20.8%	△0.8pt

※1:電子記録債務を含む

※2:1年内返済予定長期借入金を含む



2019年3月期 2Q 連結キャッシュフロー

営業C/F・投資C/Fの減少、財務C/Fの増加は前期の特殊要因が当期消滅したことによるもの

(単位:百万円)	2018年3月期 2Q累計	2019年3月期 2Q累計	前年 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	168	△150	△319
投資活動による キャッシュ・フロー	2,499	△19	△2,518
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,285	△84	+1,201
現金及び現金 同等物の増減額	1,381	△255	△1,637
現金及び現金 同等物の期首残高	1,042	2,093	+1,050
現金及び現金 同等物の四半期末残高	2,424	1,838	△586

◎営業C/Fの減

・仕入債務の休日影響

前2Q末は仕入債務・決済の休日影響
+346百万円あったが、当四半期は期首、
当2Q末とも休日であったため、
休日影響は+24百万円にとどまり減少

・受取配当金の影響

前期受取配当金57百万円が、
事業再編で当四半期は2百万円へ大幅減少

◎投資C/Fの減

→前期の事業再編による影響

前期、卸売事業及びスポーツ事業からの
撤退による収入2,607百万円あり

◎財務C/F

前期は事業再編による収入を
有利子負債圧縮に充当

2019年3月期 1Q及び2Qの 取組状況と今後の方針



■ 当社グループの和装宝飾事業において、顧客の決済方法に「集金保証型」ショッピングクレジットの導入を決定

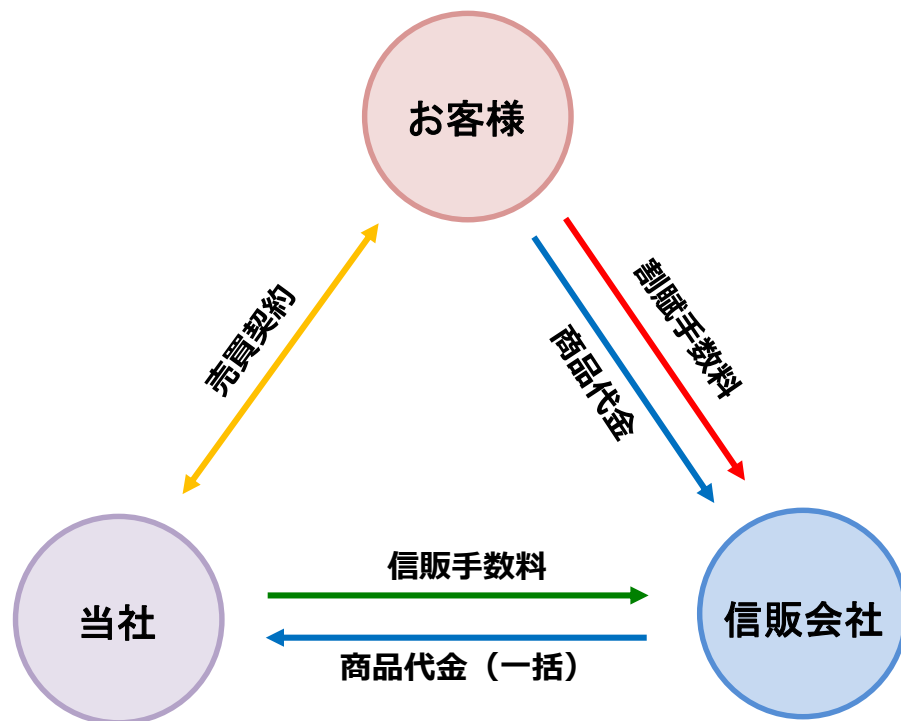
★ 導入目的：割賦手数料を「集金保証型」導入により
当社の収益として享受

★ 対象店舗：当社及び子会社の和装宝飾等小売各店舗
(平成30年11月1日現在:全国110店舗)

★ 導入時期：平成30年11月度

「集金保証型」ショッピングクレジット

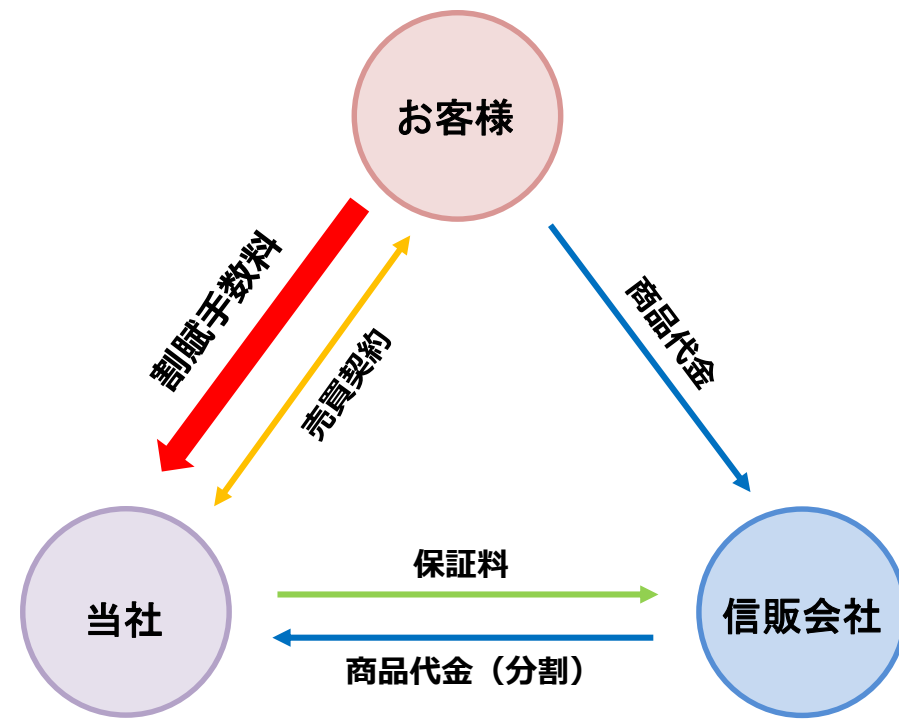
「立替型」ショッピングクレジット(従来)



商品代金－信販手数料⇒収益



「集金保証型」ショッピングクレジット(導入後)



商品代金＋割賦手数料⇒収益

(保証料含む)

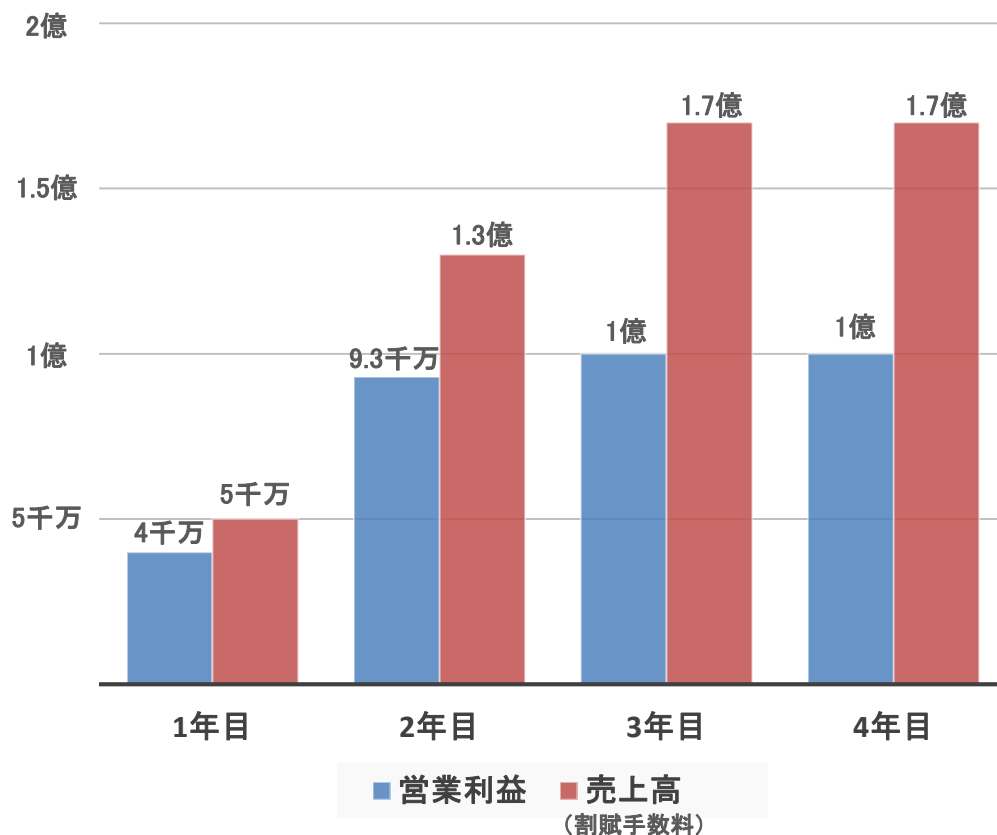


★審査・集金業務は従来通り、信販会社へ委託

★割賦手数料を「集金保証型」導入により当社の収益として享受

■ 和装宝飾事業 売上高(前期)105億円の10%(10億円) ➡「集金保証型」へ切替を図る

〈取扱高10億円/年を想定の損益シミュレーション〉



和装宝飾事業＝中核事業

- ・ ショッピングクレジット利用頻度が比較的高い
- ・ 「集金保証型」導入により新たな収益確保を見込む

「集金保証型」の取扱高が
上がるほど売上高・営業利益に寄与

※営業利益は手数料収入から保証料を引いたものになります。

※あくまでもシミュレーションであり、当社の売上収益を保証するものではありません。

■ 店舗改装 5店舗実施 (平成30年11月1日現在)



9月6日(木) イオンモール川口前川に移転オープン



2018/4
Kimono Shop あいこ 新潟東店(改装)



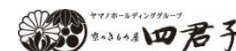
2018/4
すずのき 弘前店(移転改装)



2018/4
ユキベルファム 福島店(改装)



2018/7
京のきもの屋四君子 長浜店(改装)



今期10店舗改装予定

■「きもの会」開催で顧客満足度UP

～お客様の“着たい”を叶える取り組みを！～

<第2Q累計>

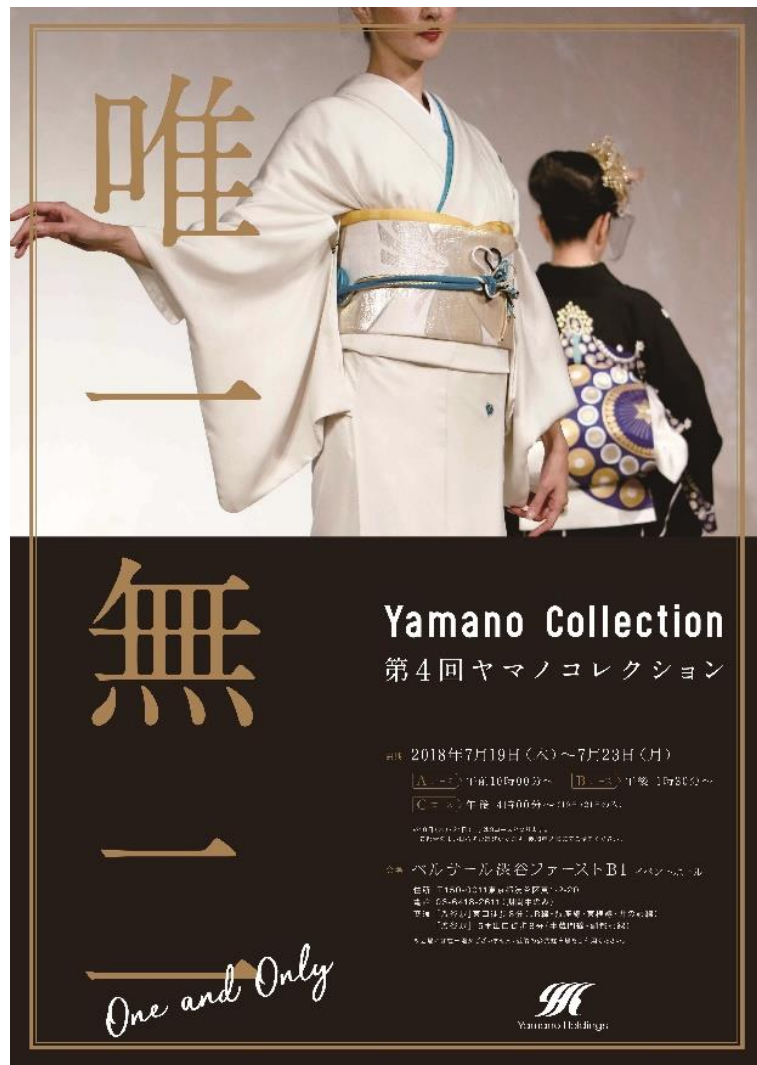
96 会場

延べ**1,619** 名 参加

<前期比105%>



■ ヤマノホールディングス最大の合同展示販売会～ヤマノコレクション～



＜前期比＞

売上高 101%

来場数 106%

7月関東、8月沖縄、9月九州で開催

中核催事として確立

■ 新規出店1店舗



甲東園駅徒歩1分
ダメージレスにこだわり、
髪だけでなく頭皮ケアも充実
最新技術【ヘアループ】導入サロン

■ 出店体制強化

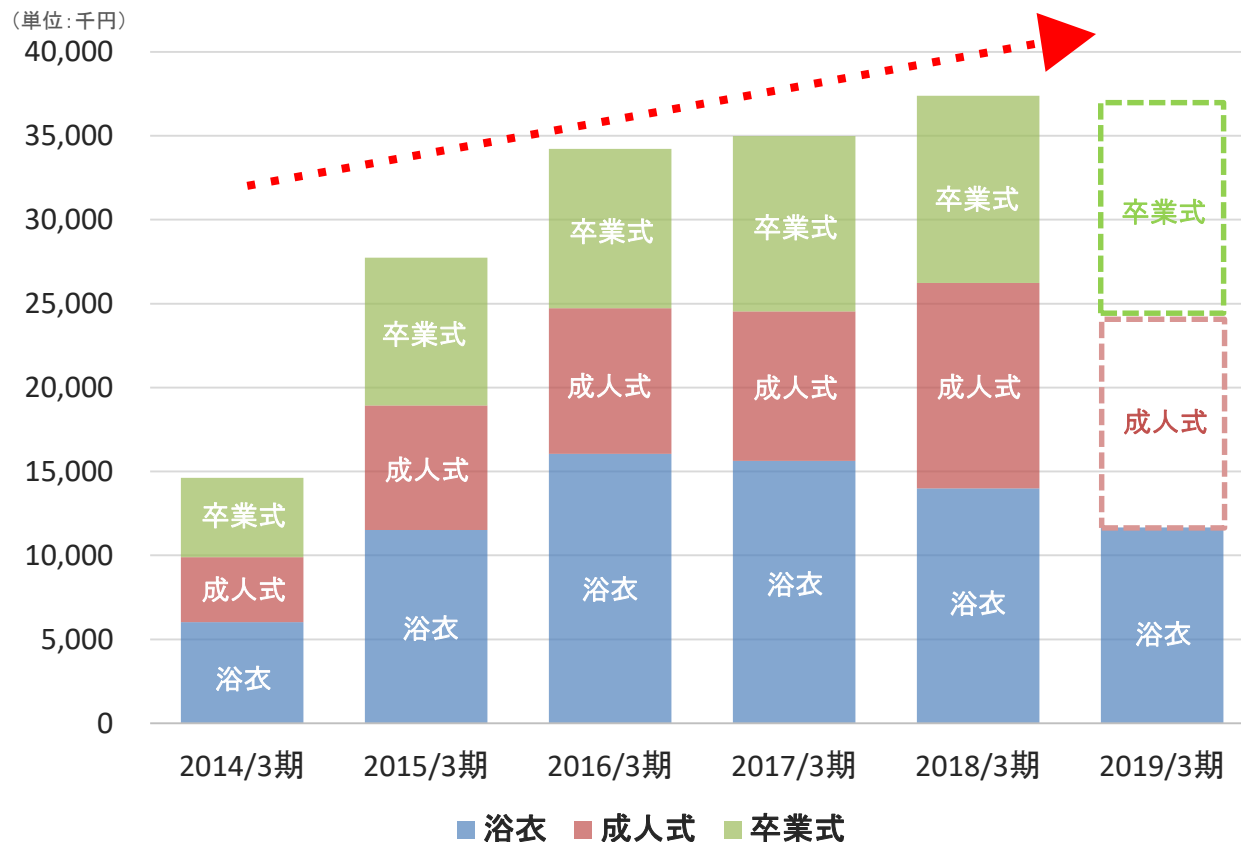


低価格業態 Cut&Color AY
↓
中高価格業態 PLAZA HAIR を展開

価格帯を広げることで出店領域拡大

出店加速へ

■ 浴衣・成人式・卒業式 着付け



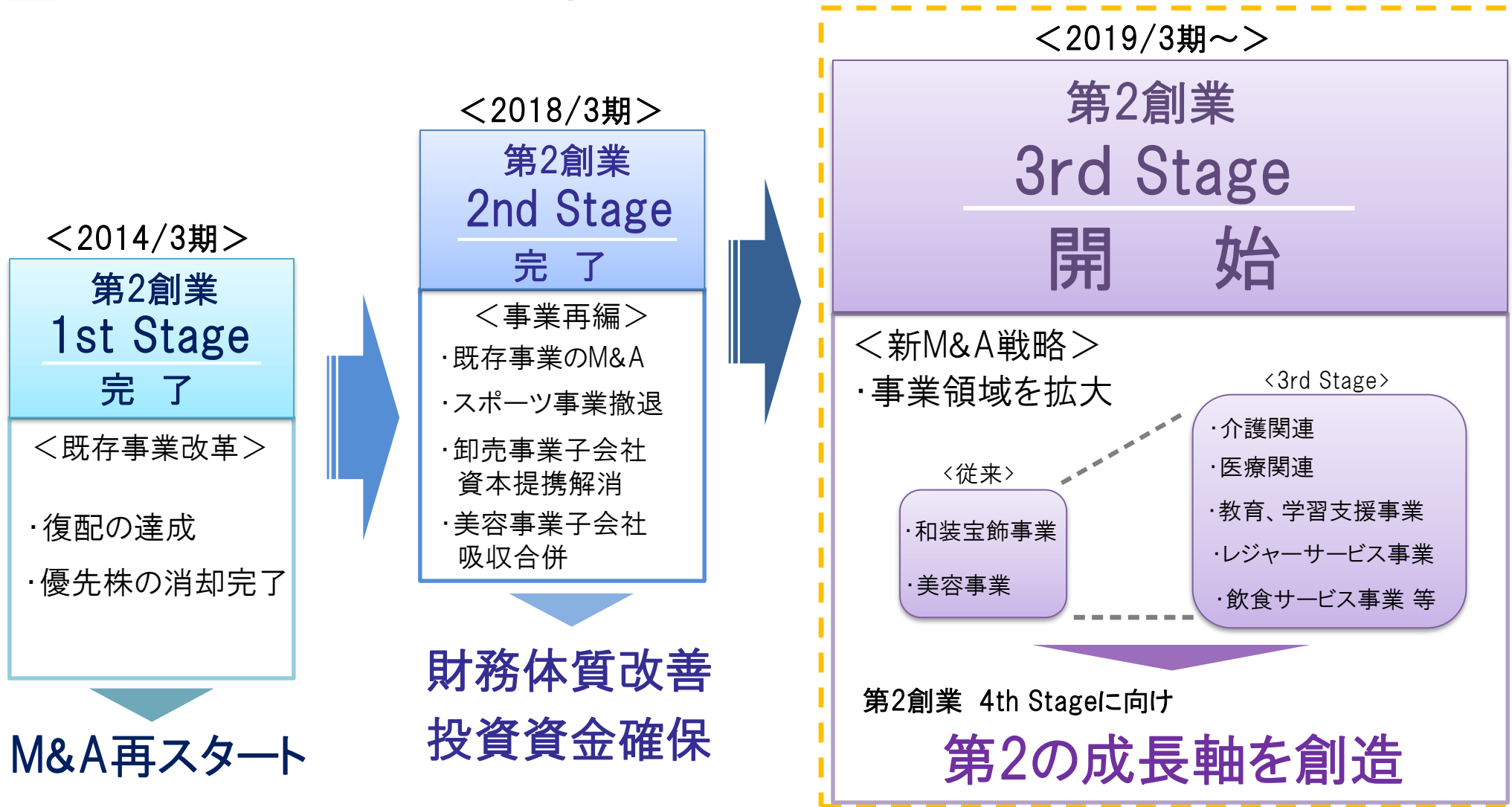
＜今期の状況＞

- ・ 浴衣
台風などの影響を受け花火大会など中止
500名以上キャンセル
- ・ 成人式
予約状況は堅調



- ・ 和装宝飾事業との連携により着付スキル向上
- ・ 着付サービスが収益確保ツールとして定着

■ 第2創業 3rd Stage



■(有)みうら 株式取得(7/1付)

ブランド力	本業界の先駆けとして30年弱の営業実績があり、ブランド力を構築
品質の差別化	発足当初より、ネイルサロンとしてではなく、「手足手入れの専門店」という高い品質により差別化
好立地の ドミナント戦略	「住みたい街ランキング」で上位に入る好立地で3店舗展開

<沿革>	
1992/12	美容室内にネイルサロンオープン
1994/1	独立店舗に移転
1995/1	吉祥寺店オープン
2000/5	会社設立
2003/1	井の頭通り店オープン
2009/11	nail BASEオープン
2018/7	(株)ヤマノホールディングスへ株式譲渡
2018/8	(株)みうらへ変更

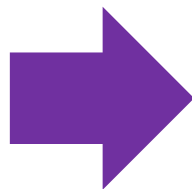


■ シナジー効果

ヤマノグループ



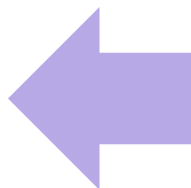
① 管理・運営バックアップ



みうら（ネイルサロン）



② 技術提供



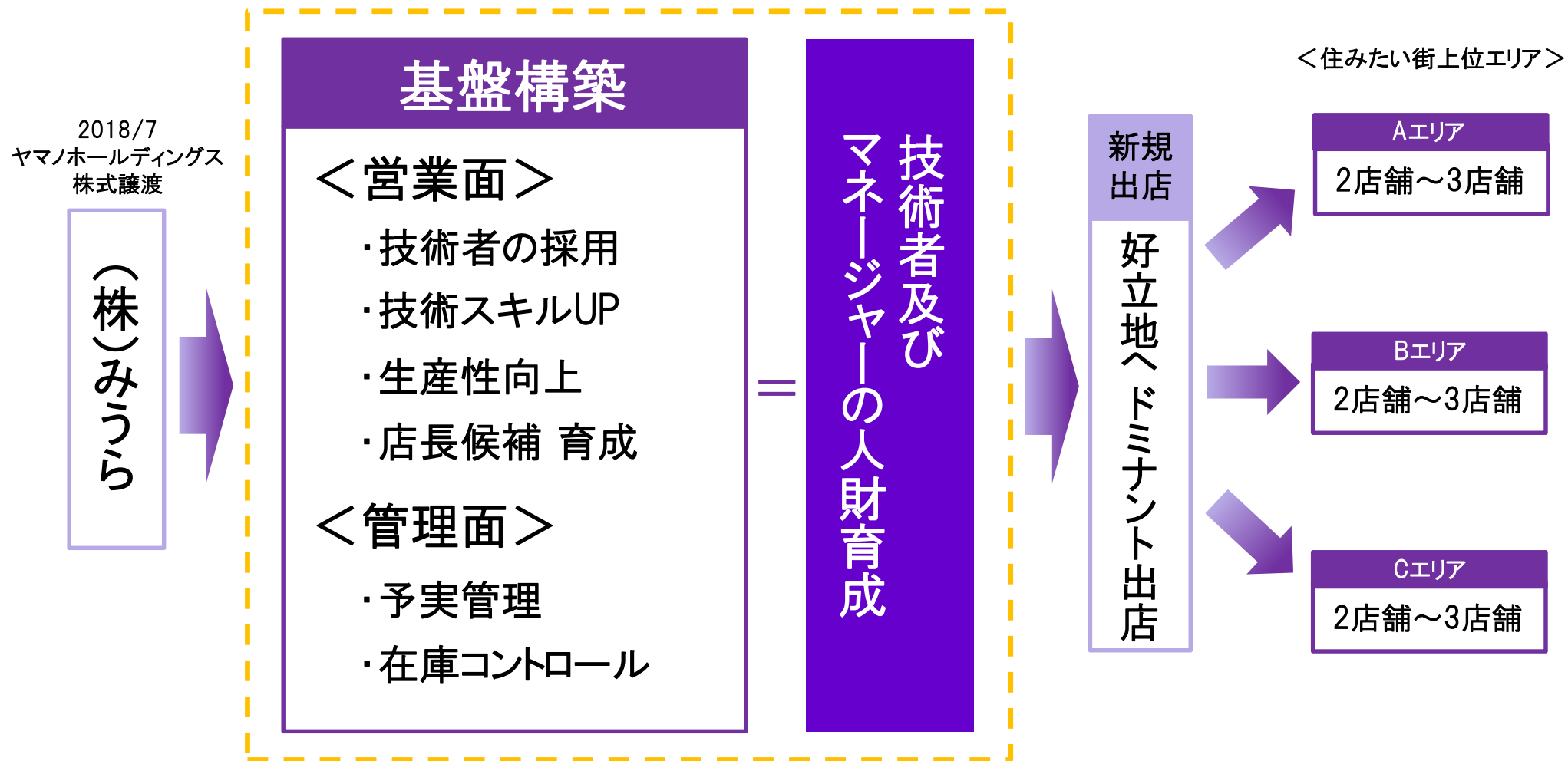
① ヤマノグループ→みうら
＜管理・運営のバックアップ＞

- ・管理機能一本化 →コストダウン
- ・資金支援 →新規出店可能へ
- ・採用教育 →生産性向上

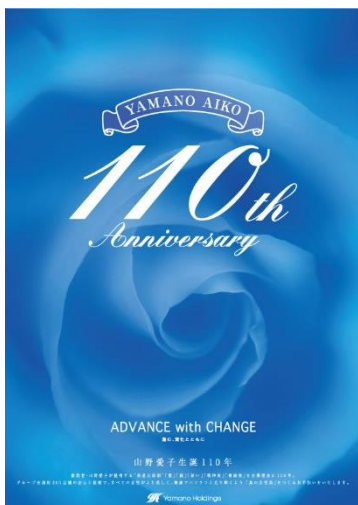
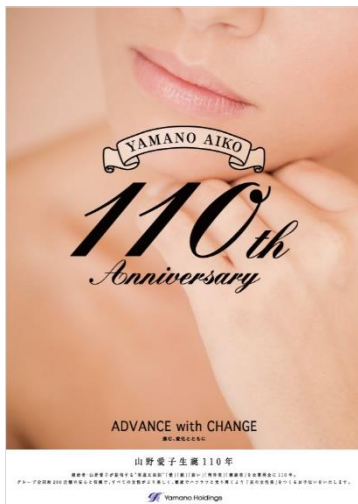
② みうら→ヤマノグループ
＜技術提供＞

- ・美容室でのネイル事業展開
→収益向上
- ・和装宝飾事業店舗（催事）での
ネイルサービス展開
→サービス向上

技術者及びマネージャーの人財育成



■ 山野 愛子生誕110年(2019年1月)を最大限活用



山野 愛子のあゆみ

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1909年
(明治42年) | 山野 愛子 誕生 |
| 1925年
(大正14年) | 美容院 開業 |
| 1935年
(昭和10年) | 結婚 |
| 1938年
(昭和13年) | 日本初 国産パーマネット機
製造 |
| 1963年
(昭和38年) | 山野 愛子どろんこ美容
考案 |
| 1980年
(昭和55年) | 勲三等 瑞宝章 受章 |
| 1992年
(平成4年) | 山野美容芸術短期大学
開学 |
| 1995年
(平成7年) | 永眠 |

ヘアドネーションの「つな髪」に美容事業部が協賛提携

美容技術を活かせる社会貢献活動を展開！ 月100件を目標に「ヘアドネーション～つな髪～」を伝えていく

(株)グローウィング
×
(株)ヤマノホールディングス



『ヘアドネーション～つな髪～』とは、
抗がん剤治療や脱毛症・抜毛症など、
髪の悩みを持つ子供たちに、
寄付で集められた髪を使って
「医療用ウィッグ」を作り、
無償で提供するプロジェクトです。

◎登録店舗数：87店舗中 **72店舗**

◎ご利用件数：303件（平成30年5月～9月現在）

利用者の声

切りたかった髪も切れて、
さらにその髪が誰かの
役に立つのは嬉しい

貢献できるという事なので
娘と一緒にきました

「美容室だからこそできる事」 「髪が役立つ喜び」

今後も美容技術を活かせる社会貢献活動に進んで参加

2019年3月期 業績予想



■ 2019年3月期 通期 業績予想(連結)

⇒現時点では前回公表(5月15日)から変更はございません。

単位：百万円	2018/3期	2019/3期	前期比	
	実 績	予 想	増減額	増減率
売 上 高	14,947	14,200	△747	△5.0%
営 業 利 益	219	240	+20	+9.4%
経 常 利 益	265	220	△45	△17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	502	120	△382	△76.1%

■ 1株当たり年間配当金は、2円を予想



ソフトと価値の提供により、顧客創造と収益力拡大 を図ってまいります

本資料は、2019年3月期第2四半期の業績概要および2019年3月期業績予想、並びに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り2018年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

